

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

| | |
|--------|-------------------------------------|
| 化学品の名称 | ラピスモールド |
| 会社名 | 株式会社トクヤマデンタル |
| 住所 | 〒314-0255 茨城県神栖市砂山 26 |
| 担当部署 | 品質保証 Gr |
| 緊急連絡先 | TEL: 0479-46-4708 FAX: 0479-46-3568 |
| 推奨用途 | 歯科用 |
| 使用上の制限 | 推奨用途以外への使用は禁止する |

2. 危険有害性の要約

| GHS分類 | |
|-----------|--|
| 物理化学的危険性 | 可燃性固体：分類できない 自然発火性固体：区分に該当しない 酸化性固体：分類できない |
| 健康に対する有害性 | 急性毒性（経口）：分類できない 急性毒性（経皮）：分類できない 急性毒性（吸入：ガス）：区分に該当しない 急性毒性（吸入：蒸気）：区分に該当しない 急性毒性（吸入：粉じん）：分類できない 急性毒性（吸入：ミスト）：区分に該当しない 皮膚腐食性・刺激性：分類できない 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性：分類できない 呼吸器感作性：分類できない 皮膚感作性：分類できない 生殖細胞変異原性：区分2 発がん性：区分1A 生殖毒性：分類できない 特定標的臓器毒性（単回暴露）：分類できない 特定標的臓器毒性（反復暴露）：区分1(呼吸器系、免疫系、腎臓) 誤えん有害性：分類できない |
| 環境に対する有害性 | 水生環境有害性 短期（急性）：分類できない 水生環境有害性 長期（慢性）：分類できない オゾン層への有害性：分類できない |
| GHSのラベル要素 | |
| 絵表示又はシンボル |  |
| 注意喚起語 | 危険 |

| | |
|---------|--|
| 危険有害性情報 | 発がんのおそれ 遺伝性疾患のおそれの疑い 長期にわたる、又は反復暴露による呼吸器、免疫系、腎臓の障害 |
| 注意書き | 使用前に取扱説明書入手し、全ての安全注意を読み、理解するまで取扱わないこと この製品を使用する時は、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。 粉塵を吸入しないこと。 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。 暴露又は暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。 容器を密閉して換気の良い場所で、高温、多湿、直射日光を避けて、施設して保管すること。 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。 |

3. 組成及び成分情報

| 単一製品・混合物の区別 | 混合物 | |
|---------------------|-----------|------------|
| 化学名 | 濃度範囲 | CAS 番号 |
| 石英(結晶質二酸化ケイ素) | 40 - 50 % | 14808-60-7 |
| クリストバライト(結晶質二酸化ケイ素) | 35 - 45 % | 14464-64-1 |

4. 応急措置

| | |
|------------------|---|
| 吸入した場合 | <ul style="list-style-type: none"> 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させ保温して安静を保つ。 直ぐには何も症状が認められなくても、必ず医師の診断、手当てを受けること。 |
| 皮膚に付着した場合 | <ul style="list-style-type: none"> 多量の水と石鹸で洗うこと。 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。 汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。 |
| 目に入った場合 | <ul style="list-style-type: none"> 直ちに水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。 |
| 飲み込んだ場合 | <ul style="list-style-type: none"> 水でよく口の中をすすぐこと。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。 |
| 予想される急性症状及び遅発性症状 | <ul style="list-style-type: none"> 吸入した場合：咳 |
| 最も重要な兆候及び症状 | <ul style="list-style-type: none"> データなし。 |
| 応急措置をする者の保護 | <ul style="list-style-type: none"> データなし。 |
| 医師に対する特別注意事項 | <ul style="list-style-type: none"> データなし。 |

5. 火災時の措置

| | |
|-------------|---|
| 消火剤 | <ul style="list-style-type: none"> この製品自体は、燃焼しない。周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。 |
| 使ってはならない消火剤 | <ul style="list-style-type: none"> データなし。周辺火災に応じて対応する。 |
| 特有の危険有害性 | <ul style="list-style-type: none"> 加熱により容器が爆発するおそれがある。 |
| 特有の消火方法 | <ul style="list-style-type: none"> 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 容器が熱に晒されているときは、移さない。 |

| | |
|-----------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・安全に対処できるならば着火源を除去すること。 |
| 消火を行う者の保護 | <ul style="list-style-type: none"> ・適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。 |

6. 漏出時の措置

| | |
|------------------------|---|
| 人体に対する注意事項、保護具および緊急措置 | <ul style="list-style-type: none"> ・微粉が生じて目に入る恐れがあるので、防塵マスク、保護手袋、保護眼鏡を着用して作業する。 ・漏出物に触れない。 |
| 環境に対する注意事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境中に放出してはならない。 |
| 回収、中和 封じ込め及び浄化方法・機材 | <ul style="list-style-type: none"> ・危険でなければ、漏れを止める。 ・飛散しないように掃き集めて、密閉容器に入れる。 |
| 二次災害の防止策 | <ul style="list-style-type: none"> ・すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。 ・排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。 ・粉塵が飛散しないようにする。 |

7. 取扱い及び保管上の注意

| | | |
|-------------------------|--|--|
| 取扱い | | |
| 技術的対策 | <ul style="list-style-type: none"> ・適切な保護具を着用する。 ・歯科診療における使用時は、当該製品の注意事項等情報（添付文書）の【使用上の注意】の記載通りに、保護具を使用する。 | |
| 局所排気・全体換気 安全取扱い注意事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・換気の良い区域のみで使用する。 ・取扱い後はよく手を洗うこと。 ・粉塵の吸入を避けること。 ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 ・眼に入れないこと。 ・飲み込みを避けること。 ・皮膚との接触を避けること。 | |
| 接触回避 | <ul style="list-style-type: none"> ・高温、多湿、直射日光を避ける。 | |
| 保管 | | |
| 技術的対策 混触危険物質 保管条件 | <ul style="list-style-type: none"> ・密閉して保管する。水濡れを避ける。湿気の少ない屋内倉庫に保管する。 ・強酸化剤、フッ化水素。 ・容器を密閉して換気の良い場所で、高温、多湿、直射日光を避けて保管する。 ・患者や子供の手の届かないところに保管する。 | |

8. 暴露防止及び保護措置

| | |
|---------------------------|--|
| 管理濃度 | 粉じん $E=3.0 / (1.19Q+1)$ E : 管理濃度 (mg/m ³) Q : 粉じんの遊離結晶質シリカ含有率 (%) |
| 許容濃度 暴露限界値 生物学的暴露指標 | 日本産業衛生学会（2023年版） ・結晶質シリカ 0.03mg/m ³ (吸入性粉じん) 米国産業衛生専門家会議(ACGIH、2023年版) ・結晶質-石英・クリストバライト TLV-TWA 0.025mg/m ³ (吸入性粒子) |
| 呼吸器の保護具 | 適切な呼吸器保護具を着用すること。 |
| 手の保護具 | 適切な保護手袋を着用する。 |
| 目の保護具 | 適切な眼の保護具を着用すること。 |
| 皮膚及び身体の保護具 | 適切な保護衣等を着用すること。 |

9. 物理的及び化学的性質

| | | | |
|----------------|-------------------------------|-------------------|----------------------------|
| 物理状態・色 | 青色粉末 | pH | データなし。 |
| 臭い | データなし。 | 動粘性率 | データなし。 |
| 融点／凝固点 | データなし。 参考：結晶質・石英の融点：1,610℃ | 溶解度 | データなし。 |
| 沸点／初留点 | データなし。 参考：結晶性・石英の沸点：2,230℃ | n-オクタール／水 分配係数 | データなし。 |
| 可燃性 | データなし。 | 蒸気圧 | データなし。 |
| 爆発下限界 及び上限界 | データなし。 | 密度 又は相対密度 | データなし。 参考：結晶質・石英の比重：2.5 |
| 引火点 | データなし。 | 相対ガス密度 | データなし。 |
| 自然発火点 | データなし。 | 粒子特性 | データなし。 |
| 分解温度 | データなし。 | その他データ | なし。 |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|---------------------------------|
| 安定性 | ・推奨する保管及び取扱において、安定と考えられる。 |
| 危険有害反応可能性 | ・データなし。 |
| 避けるべき条件 | ・高温、多湿、直射日光を避ける。 |
| 混触危険物 | ・強酸化剤、フッ化水素。 |
| 危険有害な分解生成物 | ・燃焼より、一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物などを生成する。 |

11. 有害性情報

| | |
|--------------------|--|
| 急性毒性 | 経口：データ不足の為、分類できない。 経皮：データ不足の為、分類できない。 吸入（粉塵）：データ不足の為、分類できない。 |
| 皮膚腐食性／刺激性 | データなし。 |
| 眼に対する重篤な 損傷／刺激性 | データ不足の為、分類できない。 |
| 呼吸器感作性又は 皮膚感作性 | 呼吸器感作性：データなし。 皮膚感作性：データなし。 |
| 生殖細胞変異原性 | 石英・クリストバライトは、生殖細胞変異原性を区分2である。混合物に1%以上含むので、区分2と分類した。 |
| 発がん性 | 石英・クリストバライトに関して、IARC68(1997)は1、NTPはK、産衛学会勧告は1に分類しており、発がん性を区分1Aに分類されており、発がん性区分1Aとなる。混合物に0.1%以上含むので、区分1Aとした。 |
| 生殖毒性 | データなし。 |
| 特定標的臓器毒性 (単回暴露) | データなし |
| 特定標的臓器毒性 (反復暴露) | 石英に関して、特定標的臓器毒性を区分1（呼吸器、免疫系、腎臓）に分類されており、クリストバライトに関して、特定標的臓器毒性を区分1（呼吸器）に分類されている。混合物に25%以上含むので、区分1（呼吸器、免疫系、腎臓）と分類した。 尚、石英・クリストバライトが該当する高純度結晶性シリカの微粒子を吸入すると、通常よりも極めて短時間で、重篤なじん肺を引き起こすおそれがある。 |

| | |
|--------|--------|
| 誤えん有害性 | データなし。 |
|--------|--------|

1 2. 環境影響情報

| | |
|-----------------|-----------------|
| 生態毒性 | |
| 水生環境有害性 短期（急性）： | データ不足の為、分類できない。 |
| 水生環境有害性 長期（慢性）： | データ不足の為、分類できない。 |
| 残留性・分解性 | データなし。 |
| 生体蓄積性 | データなし。 |
| 土壤中の移動性 | データなし。 |
| オゾン層への有害性 | データなし |

1 3. 廃棄上の注意

| |
|-----------------------------------|
| 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。 |
|-----------------------------------|

1 4. 輸送上の注意

| | |
|-------|---|
| 国連番号 | 該当しない。 |
| 国連輸送名 | 該当しない。 |
| 国連分類 | 該当しない。 |
| 容器等級 | 該当しない。 |
| 国際規制 | 海上規制情報 該当しない。 航空規制情報 該当しない。 |
| 国内規制 | 陸上規制情報 該当しない。 海上規制情報 該当しない。 航空規制情報 該当しない。 |

1 5. 適用法令

| | |
|---------------|---|
| 労働安全衛生法 | 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 (法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9) ・石英（結晶質シリカ）・クリストバライト（結晶質シリカ） がん原性物質（労働安全衛生規則 577 条の 2） ・結晶質シリカ（石英）・結晶質シリカ（クリストバライト） |
| 化学物質排出把握管理促進法 | 該当しない |
| 毒物及び劇物取締法 | 該当しない |

1 6. その他の情報

| | |
|------|---|
| 参考文献 | <p>[1] GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（SDS）（JIS Z 7253:2019）日本規格協会（2019 年 5 月 25 日発行）</p> <p>[2] GHS 分類結果データベース（独）製品評価技術基盤機構ホームページ</p> <p>[3] GHS 文書 改訂第 4 版、事業者向け GHS 分類ガイダンス第 3 版(平成 25 年 7 月) 経済産業省製造産業局化学物質管理課ホームページ</p> <p>[4] GHS に基づく化学品の分類方法(JIS Z 7252:2019)日本規格協会(2019 年 5 月 25 日発行)</p> <p>ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報や当社所有の知見によるものですが、これらのデータや</p> |
|------|---|

評価はいかなる保証をするものではありません。また法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。

当該物の成分の含有量が当社にとっての営業上の秘密に該当する場合、もしくは、製造上の調整幅を必要とする成分の含有量については、重量パーセントではなく 10%刻みの濃度範囲で記載しています。